

本取扱説明書をご利用前にお読みいただき、正しくご利用ください。

付属品名称		スペック	
	テント用ポール /2本	製品名: Lois ST / ロイス ST	耐水圧: 3000mm
	前幕用ポール /1本	品 番: TH2502LIS	生 地: 210Tリップストップ
	ガイロープ /7本	サイズ: W220 × D310 × H108 cm	ポリエステル
		重 量: 4.65 kg	生産国: 中国
		人 数: 1～2人	
		カラー: ブラック	

注意 誤った取り扱いをした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性のある内容を示しています。

- 使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。
 - ・キャンプ当日までに、取扱説明書通りに本体および付属品がセットされているかをご確認ください。稀に縫製上の不備やセットミスなどにより、テントが設営できない場合があります。
 - ・テントを収納する際は、ポール、ガイロープなどのパーツの数量をご確認ください。また、毎回のご使用前後にも点検を行ってください。
- テントは必ず固定してください。
 - ・強風でテントが飛ばされたり、倒壊する危険があります。テントが吹き飛ばされた際に、人や車、他のテントなどに当たり、大きな損害を引き起こす可能性があります。
 - ・ペグは必要本数きちんとペグダウンしてください。また、ストームコードも状況に応じて必要数きちんと張ってください。撤収時には、使用したペグを必ず全数抜き取り、数量をご確認ください。
 - ・テントの設営や撤収時、ペグで固定する前後で、急な突風等でテントが飛ばされることがあります。テントが飛ばされないように、十分にご注意ください。
- テント本体に付属のガイロープ、必要に応じてストームコードを使用し、テントがたるまないように設営してください。
 - ・テント生地がたるんだ状態では、風の力が余計にかかり、飛ばされたり、倒壊する原因になります。
 - ・ペグは根本まで地面にしっかり打ち込み、ストームコードは強いテンション(張力)を保つようにしてください。
- 通行する人の妨げにならないようにテントを設営してください。
 - ・通行する人が、ガイロープにつまづいたり、引っかかったりして、ケガの原因になることがあります。
 - ・昼夜を問わず、通行する人がわかるようガイロープに目印を付けたり、テント周辺の通路を十分に確保してください。
- テントを無人の状態で長時間、放置しないでください。
 - ・急な天候の変化等により、テントが飛ばされたり、倒壊したりする可能性があります。
 - ・テントを置いて避難するような状況下では、テントを倒して飛ばされないよう重りを載せるなどしてください。
- 就寝時や、強風時、雨天時には入口の開口ファスナーを閉じてください。
 - ・夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風でテントが飛ばされたり、倒壊する危険があります。
- 設営、撤収の際は周囲に十分配慮し、事故やケガなどのないようご注意ください。
 - ・ケガ防止のために必ず手袋を着用してください。
 - ・長いポールは、思わぬ接触や先端のハネ返りで周囲の人や特に子どもの顔や目に当たったり、車などをキズつける可能性があります。
- 本製品は常設用ではありません。
 - ・長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。

警告 誤った取り扱いをした時に、死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。

- キャンプ場やキャンプ許可地域以外では使用しないでください。
 - ・キャンプ場以外でのキャンプは、基本的に禁止されています。また、知らない土地では、どのような危険が潜んでいるかわかりません。
 - ・特に河原でのキャンプは、上流での雨やダム放水などにより、急に水位が増すこともあり危険です。
- 台風などの悪天候時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。
 - ・悪天候が予想される状況下で、キャンプを強行する事は大変危険です。また、悪天候時、テント内は決して安全な場所ではありません。常に最新の気象情報をご確認ください。
 - ・台風などの強風や豪雨の場合には、テントをどんなにしっかり固定していても、吹き飛ばされたり、倒壊する可能性があります。
 - ・テントに落雷する可能性もあり危険です。
 - ・キャンプ場内の避難場所を必ず事前にご確認ください。
- テントの中やテントの近いところでは炎が上がる、また火の粉が飛ぶような焚き火や火気を絶対に使用しないでください。
 - ・テントの生地は難燃加工を施しておりますが不燃性ではございません。
 - ・ポリエステル生地および撥水加工は熱に弱く、燃えやすくなっておりますので十分にご注意ください。
 - ・テントでの火気の使用は火災、ヤケド、一酸化炭素中毒による酸欠の原因となります。
- 事故を防ぐために、定期的に換気を行ってください。
 - ・最悪の場合、酸欠により死にいたることもあります。定期的に換気を行ってください。
 - ・薪ストーブを使用する際は、一酸化炭素中毒に十分注意し、一酸化炭素警報装置等を併用して自己責任の元ご使用ください。
- 製品に異常が見られた場合はただちに使用を中止してください。

結露について

防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の空気を循環させ換気を行うことで結露の発生を低減することができます。

修理について

- ・修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社info@mt-sumi.comまでご連絡ください。(破損状況のお写真や、破損時の状況をできるだけ詳しくお書き添えください)
- ・修理を依頼される場合は、漏れや汚れのない状態で送りください。
- ・修理はお日にちがかかります。予めご了承ください。

【修理品の運賃並びに修理費用について】

- 1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社が負担いたします。
- 2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担をお願いいたします。(修理費は別途見積りします)

保証について

期間内において初期不良や正常な使用状態で製品の不具合が発生した場合は、info@mt-sumi.com までご連絡ください。購入日確認のため、レシート、納品書、購入画面のスクリーンショットなどの購入履歴の分かるもののご提示が必要です。当社の判断で製品の修理または新品・新品部品への交換をさせていただきます。また、以下のような場合は、保証期間内であっても保証の適用外となりますのでご了承ください。

1. 不慮の事故による製品の破損
2. 誤った使い方や粗雑な扱いによる製品の破損
3. 使用者の使用上の不注意によるもの、または使用に起因する製品の劣化
4. 手入れ及び保管場所の不備により生じた劣化や破損
5. 初期不良以外のガラス・耐火煉瓦の破損
6. 二次流通(リサイクルショップやフリマサイトなど)にてご購入の場合
7. 購入履歴のご提示がない場合

株式会社 Mt. SUMI (マウントスミ)

〒601-1395 京都府宇治市炭山久田45-8

TEL : 0774-34-1951 / FAX : 0774-34-1952

info@mt-sumi.com <https://mt-sumi.com/>



組み立て方法

1. グランドシートを広げる

平坦な場所を選び、グランドシートを広げます。四隅のショックコードを（一重）ベグで固定し、対角の角を引っ張りながらベグダウンすることで、シートを均等に張ることができます。



2. テント本体をグランドシートの上に広げる

テント本体を広げます。前幕と連結して使用する場合は、テント本体にプリントされているロゴマークが後方（背面）になるように配置してください。



3. スリーブにポールを通す

四隅の延長線上に配置されたポールスリーブに、それぞれ本体用ポールを通します。※ポールは2本です。



4. ポールをハトメに差し込み立ち上げる

上側にあるポールから順に、本体用ポールの先端をテント本体四隅のハトメに差し込み、テントを立ち上げます。



5. 四隅を固定

四隅を手順1で打ったベグに引っ掛けます。ガイロープでテンションをかけ、テント全体の形を整えます。最後に、ベンチレーションを2箇所立ち上げて、テント本体の設営完了です。



・設営バリエーション

テント本体の長辺にあるパネルのハトメに、ポール（別売）を差し込むことでキャノピースタイルとして使用できます。



6. 前幕を広げポールを通す

前幕をテント本体の前方に広げ、ポールスリーブに前幕用ポールを通します。※ポールは1本です。



8. 前幕を仮ベグダウン

前幕を正面側に引っ張って立ち上げます。正面パネル中央のガイロープを引き、仮でベグダウンします。※この段階では仮固定のため、後で位置を調整して打ち直します。



10. 前幕フロントをベグダウン

手順9で仮ベグダウンしたガイロープと、残りのガイロープを本固定します。最後に、前幕正面先端のショックコードをベグダウンして完成です。



7. 前幕と本体をファスナーで連結

前幕とテント本体をファスナーで連結します。このとき、ファスナーを引く側に立って作業するとスムーズに連結できます。



9. 前幕サイドをベグダウン

前幕アーチ両端をベグダウンし、生地がピンと張るように調整します。続いて、反対側の両端もベグダウンします。



・薪ストーブの使用について

本製品には煙突用の開口部がありますが、薪ストーブの設置・使用は自己責任で行ってください。一酸化炭素中毒の危険があるため、使用時は必ずパネルを全開にして十分に換気を行ってください。

